

平成28年度事業計画

1 図書館運営協議会

- ・年3回の開催を予定
- ・中央図書館の今後の運営及び管理について協議
- ・平成28年度事業報告
- ・平成29年度事業計画

2 図書業務

- (1) 図書資料等の収集、整理、保存、貸出
- (2) 視聴覚資料の収集、整理、保存、貸出
- (3) 地域資料の収集、整理、保存
- (4) 児童サービス
- (5) YA(ヤングアダルト)サービス
- (6) 障がい者サービス
- (7) レファレンスサービス
- (8) リクエストサービス
- (9) 複写サービス
- (10) 団体貸出
- (11) 図書館間の相互貸借
- (12) 館内企画展示

3 蔵書管理

- (1) 図書の選書、発注、受入
- (2) 蔵書データの整備
- (3) 図書の整理及び補修
- (4) 除籍図書及び寄贈図書のリサイクル リサイクル市 年1回
- (5) 未返却図書の督促 月1回
- (6) 蔵書点検 年1回

4 資料収集計画

資料費予算総額 19,512,000 円

(1) 図 書 予算額 17,800,000 円 約 10,000 冊

ア 中央図書館購入分

一般書	5,605 冊 × 1,800 円 = 10,089,000 円
児童書	2,856 冊 × 1,500 円 = 4,284,000 円
参考図書	213 冊 × 8,000 円 = 1,704,000 円

郷土資料	63冊×5,000円＝	315,000円	
紙芝居	29組×2,000円＝	58,000円	
計	8,766冊	＝16,450,000円	…………… A

イ 学校連携及び児童館連携用購入分

児童書	900冊×1,500円＝	1,350,000円	…………… B
-----	--------------	------------	---------

ウ 寄贈分

一般書	100冊		
児童書	50冊		
郷土資料	200冊		
計	350冊		…………… C

総受入冊数 A+B+C=10,016冊

(2) AV資料	予算額	200,000円	
	DVD	10点×16,000円＝	160,000円
	C D	20点×2,000円＝	40,000円
	計	30点	＝200,000円

(3) 雑誌 予算額 950,000円 107誌

※平成25年度から雑誌スポンサー制度導入

平成28年3月現在計14事業者、24誌スポンサー該当
スポンサー請負金額約20万円

平成28年度1誌追加予定

(4) 新聞 予算額 562,000円 12紙

5 子ども読書活動推進計画

平成25年度から実施(5年計画)

- (1) 学校連携事業
- (2) 児童館連携事業
- (3) ブックスタート事業
- (4) 館外ブックポスト返却事業

6 講座等行事計画

- | | |
|-------------------------|------|
| (1) 講座 | 年2回 |
| (2) 児童書企画イベント | 年1回 |
| (3) 企画展示会 | 年2回 |
| (4) おはなし会(図書ボランティア等による) | 年60回 |

7 図書ボランティア

- (1) 読み聞かせ
- (2) 図書資料の修理及び装備
- (3) 図書資料の返却及び書架整理

8 実習生及び職場体験の受入れ

- | | |
|---------------|-------|
| (1) 小学生の図書館見学 | 各校年1回 |
| (2) 中学生の職場体験 | 各校年1回 |
| (3) 大学生図書館実習 | 年1回 |
| (4) 教職員研修 | 不定期 |

9 広報

- (1) 利用案内、図書館カレンダー等の作成及び配布
- (2) 新刊リストの発行
- (3) 図書館ホームページへの掲載
- (4) 市広報への掲載

10 平成28年度新事業

バリアフリー絵本の導入及び読書手帳について

11 施設管理

- | | | |
|-------------|-----|-------------|
| (1) 防犯カメラ設置 | 予算額 | 1,589,000 円 |
|-------------|-----|-------------|
- 1階閲覧室、2階学習室、地下駐車上にて合計12台のカメラを設置し、館内の防犯と安全を図る。
- | | | |
|--------------------|-----|-----------|
| (2) Wi-Fi(ワイファイ)整備 | 予算額 | 160,000 円 |
|--------------------|-----|-----------|
- 1階閲覧室及び2階学習室にて利用者が持参したスマートフォンなどのタブレット端末でインターネットに接続ができ、利用者の利便性を図る。